

A 記録に残す声

標準 | 8問 | 目安 30分

オリジナル本文 説明の対象を限定し、離れた根拠をつなぐ。

名前

実施日

月	日
---	---

① 町の資料室で、古い商店街の写真を整理する活動に参加した。写真の裏には「夏の市、昭和四十年ごろ」とだけ書かれている。私たちは、そこに写る店の名や人々の仕事を調べ、説明文を添えることにした。写真に詳しい高田さんは、通りの奥を指して「この年は大雨で、店先に水が来た」と話した。ところが、別の日に来た野村さんは「雨は翌年だったはずだ」と言った。私は一方を正しいと決めれば、説明が短く分かりやすくなると考えた。

② 資料室の佐伯さんは、二人に同じことを繰り返し質問するのではなく、何を手がかりに年を思い出したのか尋ねた。高田さんは、自分が店を手伝い始めた年と結び付けていた。野村さんは、弟が小学校に入った年を手がかりにしていた。しかし、二人が覚えている「夏の市」が同じ日に開かれたものかは、まだ分からなかった。記憶が食い違うというだけで、どちらかの話全体を捨てるのは早いと佐伯さんは言った。

③ その後、私たちは店の日誌を見つけた。日誌には、大雨の翌日に商品を二階へ運んだとあるが、写真を撮った日の記載はない。これで大雨があった日は確かめられる。けれども、写真の日付まで確定できたことにはならない。私は説明文に「この写真は大雨の日のもの」と書きかけ、消した。見つかった資料が答える問いと、自分が答えたい問いとを、いつの間にか重ねていたのである。

A 記録に残す声

標準 | 8問 | 目安 30分

オリジナル本文 つづき

- ④ 展示では、撮影年は「昭和四十年前後」とした。そして、雨についての二人の話を、話した人の名と聞いた日を付けて別の欄に載せた。違いが残っていることも明記した。すると、来館者から「この店の看板は、改装前の形に見える」という情報が寄せられた。それだけで撮影年は決まらないが、改装の記録を探すという次の仕事が見えた。違いを隠さなかったことが、新しい調査の入口になったのである。
- ⑤ ただし、不確かな話を何でも並べればよいわけではない。私たちは、日誌で確認できたこと、人が体験として語ったこと、そこから自分たちが推測したことを、表示の見出しで区別した。誰かの大切な思い出であっても、写真の日付を証明する資料として使えるかどうかは別に考える。語り手を尊重することと、証拠の強さを確かめることは、同時に行えるのだ。
- ⑥ 以前の私は、説明とは迷いのない答えを渡すことだと思っていた。今は、分かっている範囲と、まだ決められない範囲を読者に示すことも、説明の大切な役割だと考える。分からないという表示は調査の放棄ではない。確かめ方を残しておけば、別の人が続きを調べられる。記録は完成した答えを保存する箱であるだけでなく、問いを受け渡す場所にもなる。

本文・設問は本教材のために作成したオリジナルです。人物・学校・地域・出来事は架空です。

A 記録に残す声

標準 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題1～2ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1 ③の筆者の誤りを最も的確に説明したものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 二人の記憶が一致しないので、日誌の内容も誤りだと考えた。
 - イ 写真の撮影年が分からないので、大雨の日も調べられないと考えた。
 - ウ 大雨の日が確認できたことを、写真の日付の確定と取り違えた。
 - エ 日誌よりも、後から寄せられた看板の情報のほうが正確だと決めた。
- 選んだ記号を○で囲みましょう。

問2 ⑥から、「分からない」という表示を残す積極的な意味を、記録の役割として示す九字を抜き出しなさい。

										9
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

問3 ②で、佐伯さんが「何を手がかりに年を思い出したのか」を尋ねた意図を、三十字以上五十字以内で説明しなさい。

																				20
																				40
																				50

A 記録に残す声

標準 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題1～2ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問4 ③で筆者が説明文を消した理由を、日誌で分かることと分からないことの両方に触れ、四十文字以上六十文字以内で書きなさい。

[illegible]

問5 ④の「新しい調査の入口」とは何ですか。その入口が生まれた理由も含め、四十字以上六十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問6 ⑤の「同時に行える」とあるのはなぜですか。語り手の扱いと資料の扱いを分け、五十字以上七十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

A 記録に残す声

標準 | 8問 | 目安 30分

本文・資料は問題1～2ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問7 「筆者は、記憶は不確かなので記録には使わないほうがよいと考えた」というまとめを、本文に即して五十字以上八十字以内で書き直しなさい。

																					20
																					40
																					60
																					80

問8 筆者の「説明」に対する考えはどう変わりましたか。初めと今を対比し、記録を引き継ぐ人の役割にも触れ、七十字以上百字以内で書きなさい。

																					20
																					40
																					60
																					80
																					100

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた
- ☐ 根拠を本文・資料で確認した
- ☐ 指定語と字数を守った
- ☐ 想像した事実を加えていない

B 舞台袖の印

標準から応用 | 8問 | 目安 35分

オリジナル本文 会話と行動のずれを読み、心情の変化を説明する。

名前		実施日		月		日	
----	----------------------	-----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

① 舞台袖で、私は床の白いテープを靴先でなぞった。文化祭の劇で照明を担当することになってから、三週間になる。去年は主役の隣でせりふを言っていた。今年も役を選ぶ話し合いでは手を挙げたが、その役は転校してきた真帆に決まった。「照明なら、去年の動きが分かる千里がいい」と言われ、私はすぐにうなずいた。誰かが困った顔をする前に、引き受けてしまいたかった。

② 照明表には、せりふと明かりを変える時点が並んでいる。私は指定された番号を押し、一度も遅れなかった。それなのに、練習後に真帆から「最後、もう少し待ってもらえる？」と言われると、表を指して「ここで消すって書いてある」と答えた。真帆は「そうだね」と引き下がった。その声が小さくなったことには気付いたが、私は番号の横に確認の丸を重ねた。

③ 翌日、顧問の先生が客席から練習を見た。終わると、「明かりは合っている。でも、最後の人物は、何をしようとしていた？」と尋ねた。私は台本を開いた。別れを告げるせりふの後に、動きの指定はない。だが、真帆はいつも扉に手をかけて振り向いていた。照明表にあるのは最後のせりふの位置だけで、振り向く動きは書かれていなかった。客席から見ると、真帆が顔を上げる前に暗くなっていた。表に忠実だったことが、場面を伝えることと同じではなかった。

④ 休憩の間、真帆が舞台へ戻ってきた。「台本どおりなら、振り向かなくてもいいのかもしれない」と言う。私は昨日の自分の声を思い出した。真帆は台本を変えたいのではなく、人物がまだ迷っていることを観客に届けたかったのだろう。「どの顔が見えたら、消してほしい？」私が聞くと、真帆は扉に手をかけたまま少し笑い、もう一度演じ始めた。

⑤ 私は照明表の時点を書き直したが、それだけでは足りなかった。真帆の息の長さは、演じるたびに少し違う。せりふが終わってから一定の秒数を数えると、早すぎる日も、間が空きすぎる日もあった。そこで、顔が客席に向き、扉に置いた指が一度緩むところを見ることにした。照明卓からその指が見える位置を探し、床に小さく白いテープを貼った。

⑥ 本番の最後、真帆の指が扉を離れかけた。私は番号ではなく、その先を見た。指が戻り、顔が客席へ向く。一呼吸置いて明かりを消すと、暗闇の向こうで、椅子が静かにきしんだ。拍手が始まるまでの短い間、私は手を照明卓に置いたままだった。劇が終わって真帆が駆け寄ってきたとき、私は「表のとおりでしょ」と言いかけてやめた。「見えたよ」とだけ答えた。片付けの前に、床の印を自分の手ではがした。

B 舞台袖の印

標準から応用 | 8問 | 目安 35分

本文・資料は問題6ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1 ①で千里がすぐにうなずいた理由として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 去年から照明を最も得意としており、ほかの役割には興味がなかった。

イ 希望の役を得られない気持ちを表に出さず、周囲を困らせたくなかった。

ウ 真帆の演技を助けたいので、初めから希望の役を譲るつもりだった。

工劇全体の演出を変えられると考え、照明の役割を望んだ。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問2 ②から、千里が相手の反応に気づきながら、表の確認へ意識を向けた行動を表す十三字を抜き出しなさい。

[illegible]

13

問3 ②で確認の丸を重ねる行動には、どんな千里の姿勢が表れていますか。三十字以上五十字以内で説明しなさい。

										50								

20

40

50

B 舞台袖の印

標準から応用 | 8問 | 目安 35分

本文・資料は問題6ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問4 ③の先生の質問によって、千里は何に気付きましたか。照明表と舞台の違いに触れ、四十字以上六十字以内で書きなさい。

[illegible]

問5 ④の「どの顔が見えたら、消してほしい?」という質問は、②の発言と比べてどのように変わっていますか。四十五字以上七十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問6 ⑤で千里が秒数ではなく指の動きを見るようにしたのはなぜですか。四十字以上六十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

B 舞台袖の印

標準から応用 | 8問 | 目安 35分

本文・資料は問題6ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問7 ⑥の「見えたよ」には、千里のどのような思いが込められていると考えられますか。初めの姿勢と対比し、五十字以上八十字以内で書きなさい。

																					20
																					40
																					60
																					80

問8 題名の「印」は、千里の変化を読むうえでどんな働きをしていますか。確認の丸と白いテープの役割を対比して、七十字以上百字以内で説明しなさい。

																					20
																					40
																					60
																					80
																					100

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた
- ☐ 根拠を本文・資料で確認した
- ☐ 指定語と字数を守った
- ☐ 想像した事実を加えていない

C 例外を残す規則

発展 | 8問 | 目安 40分

オリジナル本文 反対意見・限定・具体例を整理して論を説明する。

名前		実施日		月		日	
----	----------------------	-----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

① 規則を作るとき、「全員に同じ扱いをすれば公平だ」と考えることがある。確かに、同じ条件の人に理由なく違う扱いをすれば、不満が生じる。しかし、全員に同じ手順を求めることが、同じ機会を保障するとは限らない。私たちが使う手順は、ある人の事情を標準として作られていることが多いからだ。公平さを考えるには、扱いが見た目にそろっているだけでなく、その手順によって誰が参加しにくくなるかも見たい。

② 地域の発表会では、出演の申し込みを平日の午後、窓口だけで受け付けていた。先に来た順なら明快だという理由だった。しかし、その時間に働いている人から、申し込みに行けないという声が出た。担当者は、電話でも同じ期間に受け付け、締め切り後に抽選する方法を提案した。申し込む方法は一つではなくなるが、参加を望む人が候補になれる機会は広がる。手順の統一と、機会の公平さは分けて考えなければならない。

③ この提案には、「特別な対応を認めると、きりが無い」という反対意見もあった。個別の事情を際限なく受け入れれば、担当者の負担が増え、運営できなくなるという心配は理解できる。だが、電話受付という共通の方法を追加することと、顔見知りの人だけを締め切り後に受け付けることは違う。前者は参加を妨げる条件を減らす方法を公開することであり、後者は特定の人を理由なく優先することである。

C 例外を残す規則

発展 | 8問 | 目安 40分

オリジナル本文 つづき

- ④ 一方で、方法を増やしさえすれば問題がなくなるわけでもない。電話を使いにくい人もいるし、窓口と電話で同じ人が二重に申し込む可能性もある。そこで担当者は、複数の方法から一つを選んで申し込むこと、重複の確認に必要な項目をそろえることを案内に記した。また、現在の方法で申し込めない事情がある場合は、事前に相談できる窓口も示した。相談した全員を出演させる約束ではなく、受付方法の障壁を確認するためである。
- ⑤ 大切なのは、例外を無制限に認めるか、まったく認めないかという二者択一にしないことだ。何のための規則なのかを確かめ、例外や別の方法を認める条件を、ほかの人にも説明できるようにする。発表会なら、出演できる人数には限りがある。その制約は残したまま、候補に入る機会を不必要に狭めない工夫を探すのである。相談があった事実は、規則の弱さを示すだけでなく、見落としていた条件を知る情報にもなる。
- ⑥ 規則は一度決めれば完成する道具ではない。どんな人が使いにくかったかを確かめ、目的と運営の制約に照らして見直す必要がある。ただし、見直すたびに理由を示さず変更すれば、かえって予測がつかなくなる。変更した点とその理由を知らせ、次の利用者が見通しを持てるようにしたい。公平さとは、誰にでも同じ形を押し当てることでも、誰にでも望みどおりの結果を与えることでもなく、参加の条件を問い直し続ける姿勢に支えられている。

本文・設問は本教材のために作成したオリジナルです。人物・学校・地域・出来事は架空です。

C 例外を残す規則

発展 | 8問 | 目安 40分

本文・資料は問題10～11ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1 ③で筆者が運営負担の心配に理解を示す働きとして、最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 負担が増えるなら、窓口だけの受付へ必ず戻すべきだと結論付ける。

イ 反対意見を示した人が、出演を望んでいないことを証明する。

ウ 運営上の心配は、公平さと関係がない問題だと切り離す。

エ 懸念を受け止めたうえで、追加の手段と特定の人への優遇を分けて考える。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問2 ②の「手順の統一」と「機会の公平さ」はどう違いますか。本文の例を使い、四十五字以上七十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問3 ③で、電話受付と顔見知りへの締め切り後の受付が違うとする理由を、四十字以上六十五字以内で説明しなさい。

																		20
																		40
																		60
					65													

C 例外を残す規則

発展 | 8問 | 目安 40分

本文・資料は問題10～11ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問4 ④の相談窓口は、何のために設けられていますか。保証しないことも明示し、三十五字以上五十五字以内で書きなさい。

[illegible]

問5 ⑤で筆者は、規則を見直すとき何を守り、何を変えようとしていますか。五十字以上七十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問6 ⑤の「規則の弱さを示すだけでなく」とあります。相談をどのように積極的に捉えていますか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

発展 | 8問 | 目安 40分

問7 「公平にするには、申し込んだ人を全員出演させる必要がある」という解釈が本文と合わない理由を、四十五字以上七十字以内に説明しなさい。

[illegible][illegible]

☐ 問いの対象を確かめた ☐ 根拠を本文・資料で確認した
☐ 指定語と字数を守った ☐ 想像した事実を加えていない

D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

オリジナル本文 根拠の範囲と比較条件を確かめ、記述を仕上げる。

名前		実施日		月		日	
----	----------------------	-----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

① 科学部では、校舎のどこに読書用の椅子を置けばよいかを考えるため、昼休みの騒がしさを調べるようになった。私は、音の大きさを測る機器を借りられれば、すぐに最も静かな場所が決まると思った。部長の森さんは、「静かさを比べたいのは、誰が、何をするときだろう」と聞いた。私は、数字で決めるのだから人の考えは後でよいと答えたが、森さんは測定用紙の一行目を空けたままにした。

② まず、読書をする人に使い方を聞いた。短い休み時間に一人で読む人もいれば、読んだ本について友達と話したい人もいた。前者は声が少ない場所を望み、後者は小声で話せる場所を求めている。さらに、移動に時間がかかる場所では、静かでも本を読む時間が減るという意見が出た。「静か」という一つの言葉の下に、違う過ごし方と条件が隠れていたのである。

③ 私たちはまず、一人で十分ほど本を読むための候補を比べることにした。入口の近くと階段の脇を、同じ日の昼休みに一か所ずつ順番に測った。入口では行事の準備が行われ、階段では人通りが少なかった。結果を見て私が階段を選ぼうとすると、森さんは「場所だけが違っていたのかな」と聞いた。時間帯と活動の違いも数値に影響したかもしれない。場所の性質だけを比べたつもりでも、いくつもの条件が一緒に変わっていた。

④ 次の週は、二台の同じ型の機器を使い、同じ時刻に測ることにした。機器を隣に並べて大きなずれがないか確かめ、翌日は置く場所を入れ替えた。人の通り方や行事の有無も記録した。数日分を並べると、普段は静かな場所でも、特定の日には大きな音が続くと分かった。一度の数字を場所の名に貼り付けるのではなく、どんな条件で得た値かを一緒に読む必要があった。

⑤ それでも、機器の数値だけで読書のしやすさをすべて説明することはできない。光のまぶしさや通路をふさがないかも確かめる必要がある。試しに椅子を置いて読んだ人からは、後ろを人が通ると集中しにくいという声も出た。私たちは数値を捨てたのではない。数値が示す音の大きさと、試して初めて分かった条件を、それぞれの根拠として持ち寄った。

⑥ 最終案には、一人で読む場所と本について話す場所を分けること、行事のある日は利用場所を案内し直すことを記した。どの場所も万能だという結論ではない。私は報告書の初めに、対象とした使い方、測った時刻、残る課題を書いた。数字は判断を助けるが、何をよいとするかまで自動的に決めてはくれない。問いを明確にし、数値の条件と限界を示してこそ、ほかの人と判断を確かめ合えるのだ。

D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

本文・資料は問題15ページ。句読点・かぎカッコも一字です。

問1〔8点〕 ①で森さんが測定用紙の一行目を空けた理由として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 誰のどんな使い方のために比較するかが、まだ定まっていないから。

イ音を測る機器が用意できず、調査を中止すると決めたから。

ウ 静かな場所の名前を、全員が測定前から知っていたから。

エ 数値を使う調査には意味がなく、意見だけで決めるつもりだったから。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問2〔8点〕 ④から確実に言えることを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 機器を入れ替えれば、場所の違いが数値に表れなくなる。

イ最も小さい数値の場所なら、どの使い方にも適している。

ウ 同じ場所でも、日や行事などの条件で音の状況は変わり得る。

エ 数日分の測定により、一年中静かな場所が確定した。

選んだ記号を○で囲みましょう。

問3〔10点〕②の「違う過ごし方と条件」とは何ですか。二つの使い方と移動の問題を含め、四十字以上六十字以内で書きなさい。

[illegible]

D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

本文・資料は問題15ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問4〔12点〕③の最初の測定では、場所の性質だけを比べたとは言えないのはなぜですか。四十文字以上六十文字以内で説明しなさい。

[illegible]

問5〔14点〕④で機器を隣に並べ、翌日に置き場所を入れ替えたのは何のためと考えられますか。三十字以上五十五字以内で書きなさい。

[illegible]

問6〔16点〕⑤の「数値を捨てたのではない」とは、どういうことですか。数値と試用の役割を分け、五十字以上七十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 8問・100点 | 目安 35分

本文・資料は問題15ページ。選択問題は記号を○で囲みなさい。

問7〔16点〕 「機器の数値で最も静かな場所を決め、そこなら誰もが読書しやすいと結論付けた」という要約を、五十字以上八十字以内で正しく直しなさい。

																				20
																				40
																				60
																				80

問8〔16点〕 筆者が最後に考える「数値を使う判断」で大切なことを、「問い」「条件」「限界」の三語を使い、七十字以上百字以内で説明しなさい。

																				20
																				40
																				60
																				80
																				100

見直し

- ☐ 問いの対象を確かめた
- ☐ 根拠を本文・資料で確認した
- ☐ 指定語と字数を守った
- ☐ 想像した事実を加えていない